

教員免許状更新講習

趣旨 学習指導要領の趣旨を踏まえ、自然体験や集団宿泊体験等に
必要な知識・技術の向上を図る。

企画運営のポイント

- ・冬期の野外教育活動に着目し、現場に役立つ講義内容と実習を含めた日程を計画した。
- ・感染症拡大防止の観点から、講師と協議した上で、一部の講義をオンラインによって実施する形式とした。

令和3年度 国立日高青少年自然の家教育事業
教員免許状更新講習

自然体験×集団宿泊体験

開催日 2023年1月6日(木)～1月8日(土)3泊3日

学費 25,000円
(研修費12,000円、その他旅費、ランチ代、宿泊代等)

申込期間 2023年10月9日(日)～11月15日(月)

申込先 国立日高青少年自然の家
〒997-8501 国立日高青少年自然の家(歩道野日高教育学舎内)

期日：令和4年1月6日(木)～1月8日(土)
会場：国立日高青少年自然の家
対象：令和3年度および令和4年度末が修了期限の教諭
人数：7名

一 日 目	9:30	10:15	10:30	12:00	13:00	14:30	15:00	18:00	18:30	19:00	20:00	21:30	22:00		
		受付	開講式	講義①	昼食	オリエンテーション	講義②	準備屋移動	実習①	夕食	休憩	講義③	自由交流 入浴	就寝準備	就寝
二 日 目	7:30	9:00	10:00	15:00	16:00	16:30	18:00	19:00	20:30	21:30	22:00				
	朝食	準備	実習②(昼食含む)			休憩	実習③(理論)	夕食	準備	実習③(スノーシューナイトハイキング)	入浴	就寝準備	就寝		
三 日 目	7:30	8:30	10:00	10:20	11:50	12:00									
	朝食	準備	講義④	連絡・休憩	履修認定試験	閉講式	昼食または解散								

教育の課題に関する理解	1.5	} 18 時間
体験活動に関する理解	2.5	
体験活動に関する技能の習得	12.5	
履修認定試験	1.5	

- 講義①** 「今日的な教育の現状と課題」里舘 幹彦 氏(北海道教育庁日高教育局教育支援課長)
(現代の子ども達をとりまく教育環境の現状と課題について)
- 講義②** 「自然体験活動の理論と教育的意義について」山田 亮 氏(北海道教育大学岩見沢校准教授)
(自然の中での体験活動がどのような教育的効果を生み出すのかについて)
- 実習①** 「冬期の野外活動と安全管理について」森 健太郎 氏(平取町教育委員会社会教育主事)
(冬期における野外での体験活動の安全管理について)
- 講義③** 「青少年施設における体験活動の意義と活動の実際」中田 和彦(国立日高青少年自然の家所長)
(教育施設の教育的な活用と役割について)
- 実習②** 「スキー学習の指導について」佐藤 英樹(国立日高青少年自然の家次長)
(対象に応じたスキー指導及び、安全管理について)
- 実習③** 「スノーシューナイトハイキングの指導について」鈴木 宏紀 氏(自然考房 Nature Designing 代表)
(スノーシューを活用した冬期のナイトハイキングの指導について)
- 講義④** 「学校教育における体験活動の意義について」阿部 隆之 氏(厚真町立厚真中学校校長)
(体験活動を学校教育として取り組む場合の教育的意義について)



火おこし体験



講義風景(オンライン対応)

【成果】

- ・体験活動をベースにした実習とすることで、話し合いの場や声をかけあう場が自ずと生まれた。さらに受講者同士の交流が活発化し、様々な情報共有や研修意欲が向上する一因となっていた。
- ・受講者は冬に特化した、スキー等の自然体験学習を行う際における指導法や安全管理について実践的な知識と技能を身に付けるよい機会となり、「分かりやすかった」「充実した内容だった」との声をいただいた。

【課題】

- ・全道各地からの参加者を想定し、終了時刻を早めたものの、アンケートには日程がタイトであったとの声をいただいた。内容、時程等の再考を検討したい。